



2018年10月3日

各 位

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-21-3
株式会社ビー・エム・エル
代表取締役社長 近藤 健介
(問い合わせ先) 取締役執行役員経営企画部長 武部 憲尚
電話 03-3350-0502

若年発症型両側性感音難聴の遺伝子検査開発に関する
信州大学との受託事業契約締結のお知らせ

当社は、この度、信州大学医学部耳鼻咽喉科学教室との「若年発症型両側性感音難聴の遺伝子検査開発に関する受託事業契約」を締結しましたのでお知らせいたします。

当社では既に公表しております通り、次世代シーケンス法による先天性難聴の遺伝子検査（19 遺伝子 154 変異を検索）の受託を行ってまいりました。今回の受託事業契約の締結により、共同開発した若年発症型両側性感音難聴の遺伝子検査（7 遺伝子を網羅的に検索）の実用化が可能となり、同分野における受託項目の更なる拡大を図ってまいります。また、信州大学医学部耳鼻咽喉科学教室との技術提携および豊富な臨床症例経験の蓄積によって構築されたデータベースの利用により、信頼性の高い検査結果の提供が可能となります。

これまで本遺伝学的検査を産学連携により保険診療で実施できるよう体制作りを進めてまいりましたが、その結果として 2018 年度の診療報酬改定により保険点数 8,000 点の適用が可能な指定難病の遺伝学的検査（新区分 D006-4 3:処理が極めて複雑なもの）となりました。

この度の商業受託化は国内初の成果であり、難聴患者さんの遺伝子診断率の向上と、正確な診断に基づいた個別化医療に貢献できるものと期待しております。

(契約締結先)

信州大学医学部耳鼻咽喉科学 教授 宇佐美 真一 先生

(実施予定日)

2018 年 11 月 1 日からの受託開始を予定。

なお、本契約に関する当社の業績に与える影響は軽微です。

以上